

第11回「新宮ダム^{しんぐう}の堤体挙動等に関する 技術検討会」の審議結果について

第11回の「新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会」を平成30年12月4日（火）に大阪市内で開催しましたので、その結果についてお知らせします。

1. 洪水吐きゲート操作性について

平成27年2月に実施した変位抑制工の施工後のモニタリング結果についての審議を行い、次の指導・助言を得た。

ダム軸方向の堤体変位については、プラムライン等の計測結果から抑制効果が見られる。しかし、対策工以前よりは小さいものの谷側への変位が進行していることや、ゲート隙間が狭まっている箇所があること等から、引き続きモニタリングを実施し、状況を注視していく必要がある。

また、引き続き、モニタリングの状況を注視して現在の対策工の効果や懸案事項の有無を確認することが良い。

2. 堤体下流面の漏水について

平成27年度に実施した堤体下流面の漏水対策工の施工後の状況について、報告を行った。

3. その他

次回の検討会は、今後のモニタリング結果を踏まえ、開催していくこととされた。

検討会の資料及び審議結果については、池田総合管理所のホームページに掲載しています。

<http://www.water.go.jp/yoshino/ikedai/index.html>

平成31年1月10日



独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

発表記者クラブ
四国中央記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所
新宮ダム管理所 所長 よしたけ 吉武

住所：愛媛県四国中央市新宮町馬立1144

電話：0896(72)2021（代表）